

## 病院からクラブ勤務へ、健康管理をサポートする看護師 ～安心と信頼が魅力の専門人材配置～ （スポーツクラブ富山・富山県富山市）

### 1. 会員だった看護師さんをクラブ勤務にスカウト

もともとは、病院に勤務しながら、スポーツクラブ富山の会員でバドミントンを楽しんでいた看護師の長澤さん。病院勤務を辞めると聞いたクラブのスタッフが、看護師の知識を生かしてクラブで活躍して欲しいとお願いし、事務局勤務がスタートしました。



### 2. 情報提供・健康啓発、健康管理のサポートをする

勤務は、終日が2日／週、半日が2日／週で、計4日出勤／週です。賃金は、クラブから事務局スタッフとして支払われます。現在は、主に中高齢者の教室で会員の健康管理のサポートを担当しています。例えば、教室の中で水分摂取の必要性について話をしたり、幼児対象の教室に来ているお母さん方に講習会を開いたり、掲示物で健康について訴えています。今後は、より多くの教室で身体と健康について会員に知識を持ってもらい、健康管理の大切さを伝えて欲しいとクラブマネージャーは期待をしています。

### 3. メディカルチェックは「自己管理」が前提

教室が始まる30分前になると参加者が集まりはじめ、来た人から血圧測定をして自己管理表に記入します。しかし、そこに長澤さんの姿はありません。探せば、教室の会場で用具の準備などを手伝いながら、参加者に挨拶、話をしながら表情をチェックして体調をうかがう姿が見られます。

「自己管理」を徹底させるのが長澤さんのスタイル。「自分の身体は自分で把握してそれに合わせて運動してほしい」という思いを持っています。



#### 4. 専門人材のおかげで安心と信頼が高まる

「血圧が高くて心配」などと長澤さんに相談する参加者の姿が見られ、看護師から直接アドバイスがもらえて安心して教室に参加できると喜ばれています。また、指導者も高齢者の体調には特に気を遣うので、看護師の存在で安心して指導ができるとクラブ全体からの信頼を得ています。



#### 5. 会員が不調を訴えた時の対応と緊急時体制

会員が不調を訴えたり、緊急事態の時は、長澤さんにすべての指示を仰ぎます。クラブでは緊急時の対処の手順を持っており、看護師を中心とした体制が整っています。

（別紙：スポーツクラブ富山緊急時対処手順）

（稲場枝里子 富山県クラブ育成アシスタントアドバイザー）

### 【スポーツクラブ富山 プロフィール】

#### 1. 設立

設立年：平成17年5月11日

経緯：平成14年度、クラブづくりの委員会を立ち上げ、富山型のクラブのあり方を検討。

翌年、富山市体育協会の支援を受け、既存のスポーツ教室や、サークルを巻き込み、1,600名余りの会員からスタート。

#### 2. 地域

人口：富山市内 約42万人

特性：富山市の中心部に位置し利便性が大変良く、人が集まりやすい。交通の拠点である富山駅をはさんで、繁華街と閑静な公園とがあり、スポーツを取り巻く環境としては大変恵まれている

#### 3. クラブ

会員数：2,876名（平成22年5月10日現在）

特徴：富山市体育協会を母体に総合型スポーツクラブ振興事業と位置付け活動。親子体操、チアリーディング、シルバー体操、ヒップホップ、柔剣道等約60種目

#### 4. 連絡先

〒930-0805 富山県富山市湊入船町12-1 富山市総合体育館内

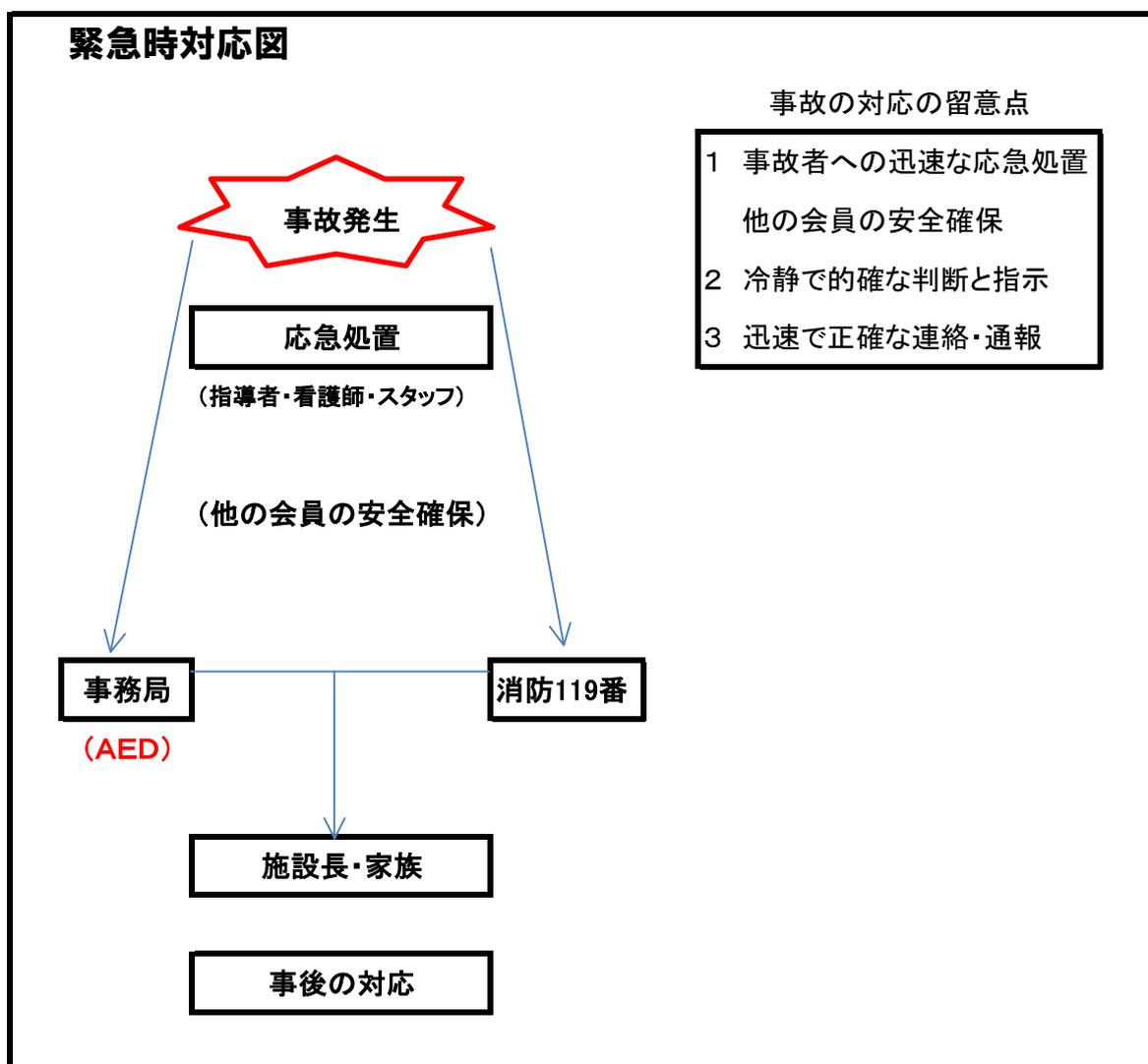
スポーツクラブ富山事務所 TEL:076-444-4649 FAX:076-432-8805

E-mail: captain@sct180.jp

## スクール・サークル活動を安全に行うために

### 事故防止のための安全対策

- ・ スクール活動前 自己ヘルスチェック（心配な時は看護師に相談） 安全指導
- ・ スクール活動中 自己確認（指導者からの声かけ） 看護師巡回
- ・ スクール活動後 自己ヘルスチェック（心配な時は看護師に相談） けがの確認
- ・ 看護師による安全指導セミナー・講習会の開催



※平成22年度より全てのスクール指導者に「応急処置及びAED」研修受講を最低年1回義務付け、緊急時の迅速な対応・適切な処置が行えるよう備えている。